

バリアフリーデザイン研究会

Barrier Free Design Institute

1992-2007

Kumamoto, JAPAN

基本理念

- Contribution (社会贡献) 社会啓発
- Study(研究) 実践的研究



活動領域

- 住まいの環境
- 住宅改善相談
- 公的な施設環境
- バリアフリーアドバイス
- 交通アクセス
- 都市交通とまちづくり



これからのキーワード 多様性と選択 「バリアフリーデザイン」とは？

1. ひとり一人の意識や考え方は違う。めいめいのデザイン、個性が尊重されるデザイン各々の違いこそ「壁」、バリアである。
2. この違いを互いに認識することで理解は深まり、それぞれの個性の尊重が考えられるようになります。
3. そこに「バリアフリー」な状況が生まれます。格差や争いの元になる偏見を無くすためには、自分を理解してもらうこととあわせて相手を理解することが基本であり、それが「バリアフリー」の原点です。

バリアフリーデザイン研究会は

1. 高齢社会を踏まえた生活環境を考えている医療, 福祉, 保健, 建築などの専門家や一般市民が参加できるグループとして発足.
2. (1992年4月創立) 社会貢献と研究を2つの理念とし, 生活者の視点でハンディキャップのあるなしに関わらず, 日常生活や社会活動を行うことが保障された生活環境を形成するための活動を大きな目的としています。

どんな活動

- 専門家集団としての特性を活かし、現在も様々のバリアフリーに関わる研究や啓発活動を進めています。
- 専門家チームで相談にあたる**住宅改善相談。自主ビデオを3本制作しセミナーでも紹介しました。**
- また、**大津町立護川小学校のバリアフリーアドバイスをはじめ、公的な施設のバリアフリー相談も続けています。**

- 1993年、1995年、1998年の「バリアフリーデザイン賞」の施設への顕彰。
- 社会的にも評価を得ていて、全国各地から視察や同様の賞創設の動きがあります。
- 1994年、1996年、1998年、2000年と続く欧州交通サーベイランス。
- 「ノンステップ低床バス、電車導入」の全国へ向けての啓発活動を続けて、ようやく産業界にも動きが表れてきています。
- 以上のような、実践的な研究と啓発活動が大きな特徴です。

2000～2006

- 3月3日 ひとにやさしいまちづくり公開講座
- 2007年2月例会
- 2007年1月例会
- 2006年12月例会
- 2006年11月例会
- 2006年10月例会
- 2006年9月例会
- 2006年8月アドバイザー養成講座

• ひとにやさしいまちづくりアドバイザー

- 2006年7月例会
- TOTO高齢者施設セミナー(7月19日)
- 2006年6月例会
- 2006年5月例会
- 2006年4月総会
- 2006年3月例会
- 「ひとにやさしいまちづくりアドバイザー養成講座 特別講演会」
- 2006年2月例会
- 2006年1月例会
- 「住まい方・まちづくり・FJC活動」

- 2005年11月例会
- 2005年12月例会 忘年会(12月26日)
- 生活を支える公共政策シンポジウム(11月20日)
- 2005年11月例会(11月17日)
- 2005年10月例会
- **ひとにやさしいまちづくりアドバイザー養成講座**
- **「第14回全国ボランティアフェスティバル 第6分科会」**
- 「図解・自閉症児の教室の構造化」出版
- 2005年10月例会案内(10月18日)
- 2005年9月例会
- 2005年7月例会
- **ストラスブールの ترامの街づくり成功の立役者A.メネー氏の講演会(7月16日)**
- 2005年6月例会
- 2005年5月例会
- 2005年4月特別講演会
- **緊急フォーラム このままでいいの？ 障害者自立支援法案(4月10日)**
- 2005年3月例会
- 2005年2月例会
- 2005年1月例会

- 2004年1月現地見学会と例会
- 2004年12月例会
- 第4回日本福祉のまちづくり学会九州支部佐賀大会
- 2004年11月例会
- 「自転車・バス・電車が主役のまちづくり、円卓会議パート5」の開催
- 2004年10月例会
- 2004年9月例会
- 2004年8月夏季特別公開セミナー(8月28日)
- 2004年7月例会
- 2004年6月例会
- 2004年5月例会
- 2004年4月総会
- 2004年3月例会
- 2004年2月例会報告
- 2004年2月例

- 2003年1月例会休会
- 2003年12月例会
- 2003年11月例会
- 2003年10月例会
- 2003年9月例会
- 2003年8月例会
- 2003年7月例会
- 2003年6月例会
- 2003年5月例会
- ユニ・ハウス(自立生活住宅)研究会公開セミナー
- 2003年5月例会
- 2003年4月都市環境とまちづくりセミナー
- 2003年度3月例会
- 2003年度2月例会
- 第3回社会福祉フォーラム2003 新世紀の福祉モデルを考える
- 「バリアフリ - 化推進功労者表彰」受賞と受賞記念祝賀会の報告
- 2003年度1月例会

- 2002年11月、12月のご案内(記念祝賀会参加へのご案内)
- 「バリアフリー化推進功労者表彰」
内閣官房長官賞受賞記念祝賀会参加へのご案内
- 2002年度10月例会 バリアフリー化推進功労者表彰(内閣府)
- 2002年度9月例会
- 2002年度8月日本福祉のまちづくり学会報告
- 2002年度7月例会報告
- 北欧五カ国の放送局共同製作の番組「人々のためのまち」上映会
- 2002年度7月例会
- 2002年度6月例会
- 日本福祉のまちづくり学会開催のお知らせ
- 2002年度総会報告
- 2002年度5月例会報告
- 2002年度4月総会報告

「バリアフリー化推進功労者表彰」 (内閣府)の受賞

- 2002年9月26日に、内閣府から、バリアフリー化の普及を目的に創設された、「バリアフリー化推進功労者表彰」の受賞11団体の中の1つとして選ばれました。授賞式には、西島会長が出席、白木事務局長が同行
- 「バリアフリー化推進功労者表彰」について
- <目的>
高齢者、障害者を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード面・ソフト面を含めた社会全体のバリアフリー化を効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー化に関する優れた取組みを広く普及させることを目的とする。
- <対象>
施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等。
表彰は5年間に限り実施され本年度は第1回目。

交通サーベイランスツアー活動報告

- 第4回欧州交通サーベイランスツアー報告書
(2000/10/20)
- 第3回欧州のまちづくりを見るツアー1998報告書(1999/07/17)
- ヨーロッパの公共交通機関(1999/05/30)

欧州交通サーベイランスツアー



欧州交通サーベイランスツアー



欧州交通サーベイランスツアー



欧州交通サーベイランスツアー



住宅改善相談

- 現場でのシュミレーションを優先した工事の方法により、良い結果を得ることができます。一人一人の生活に合わせたつくり方が大切です。



欧州交通サーベイランス ツアー

- ザールグミヌ市(フランス)
低床車両だと、乳母車や車椅子が一緒に乗ることができます。



BF広報

- 2001年2月、全国向けに市民啓発の本が発行される。
- 春には、英語併記のまちづくりパンフレットを発行予定。
- 今年開催予定の、熊本市での「路面電車サミット2001」には支援グループとして、名乗りをあげています。市民参加の祭りにつながることを願っています。

学生によるBF調査2007

携帯WEBのバリアフリーに興味ある人
丁寧なレクチャー、簡単な調査活動！
バリアフリーMAP製作の
事前調査協力
学生ボランティア
募集します！ **30名**

情報共有システム構築のための建築物バリアフリー実態調査

目的：市街地などにおける建築物に関するバリアフリー実態を把握する上で、実態となる部分を把握するための調査活動です。

内容：熊本県市街地周辺の施設を対象とする調査と報告

実施期間：2007年（平成19年）2月4日（日）0:00～17:00

※施設内の居住者に案内し、シート（調査用紙）1枚につき調査対象A4（1枚程度）を回収いたします。

報告会：2月17日（土）14:00～21:00

※調査した内容をまとめ、今後の内容調整を行います。

方法：調査員30名程度を、5期に分け階層別をゾーン分けした地域ごとに調査。
調査当日の午前中に調査方法のレクチャーを実施し、午後対象施設へ各グループで移動します。
道路からのアクセス、障害者用駐車庫、インターホン、出入り口、受付、案内セット、エレベーター、トイレを中心に行います。

報告会：調査員が調査内容を報告し、建物内の実態不足を確認します。

報告書：調査内容、報告会での意見などを取りまとめたものを作成し提出します。

※調査員は基本的にボランティアですので報酬などはありませんが、調査当日の昼食は用意します。

※調査対象は熊本市内の建築物です。両日は必ず参加できる方に限ります。

096-382-7881

<http://www.barrier-free.jp/>

【お問い合わせ先】
熊本県建設部21番1-110
バリアフリーデザイン課企画係 05A5
TEL 096-382-7881 FAX 096-382-7896
携帯 090-9091-6884

office@barrier-free.jp



学生によるBF調査と報告



熊本駅周辺エリアのBF計画



学生BF調査の報告2007



ひとにやさしいまちづくりアドバイザー 養成講座2006・2007



ひとにやさしいまちづくりアドバイザー 養成講座2007



ひとにやさしいまちづくりアドバイザー 養成講座



広報パンフ2007

SYMPOSIUM

特別公開講座 2006年4月
筑波にやま、しいまちづくりのアーカイブ 筑波9年

ひとにやさしい まちづくり ソウル — くまもと



Seoul & Kumamoto 2007

3/3 土

入場無料

日 時：2007年3月3日 午後1時～午後5時
 会 場：熊本市役所本庁舎 14 階ホール 定員 200名 (先着順・12:30開始となります)
 参加登録：バリアフリーデザイン研究会事務局

お問い合わせ先
 バリアフリーデザイン研究会事務局 (RUL) | Phone 090-1212-4414 FAX 096-382-7890 tram21@msn.com 熊本南區筑西2丁目1-110
 〒960-0802 熊本南區筑西2丁目1-110 TEL 096-382-7890 FAX 096-382-7890

韓国 日本

2007 **3/3** 土 シンポジウム

特別公開講座

ひとにやさしいまちづくり ソウル — くまもと

今回のシンポジウムでは、これまで伝えられる機会の中断した熊本市での交流を前向きに、どのように道の経験やバリアフリーの意識が広められ、どのように新しい目を開放などのしくみがとりいれられたのかを知りたいと思います。

また、同じアジアに在るという近い視点から「やさしいまちづくり」を考えることで、当事者の権利や制度を改めていくための視座を共有する機会になることを期待しています。

日 時：2007年3月3日 午後1時～午後5時
会 場：熊本市役所本庁舎 14 階ホール
定員 200名 (先着順・12:30開始となります)

入場無料

会場


ACCESS
 熊本県庁から徒歩15分、熊本駅西口から徒歩15分、熊本駅前バス停から徒歩15分

お問い合わせ先
 熊本市役所本庁舎 14 階ホール TEL 096-382-7890 FAX 096-382-7890

申込書名: TEL: FAX:

参加登録 / お問い合わせ: tram21@msn.com 携帯 090-1212-4414 (丸山) Fax 096-382-7896

ひとにやさしいまちづくりアドバイザー 養成講座 特別公開講座2007

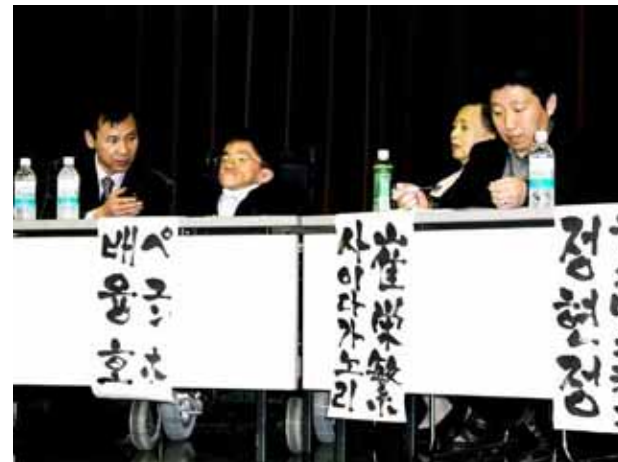
ひとにやさしいまちづくり シンポジウム ソウルーくまもと

- 開催日時:平成19年3月3日(土)
午後1時から午後5時
- 開催場所:熊本市役所本庁舎14階
ホール
- 一般 120名、スタッフ23名
- 計145名



第一部 2007・3・3

- 講演「韓国における交通弱者の移動円滑化のための法制度及び整備の現状」
- 講演者 申連植
- (シン ヨンシク)さん
- 現在 韓国交通研究院研究委員



サブ講演「ソウルにおける同法制度 及び同整備の現状」

- 講演者 鄭 鉉靜
- (チョン ヒョンジョン)さん
- 現在 ソウル市役所交通局
勤務
- ワールドカップインソウルで
数100万の市民が集まった
ソウル市庁舎の画像
- 以前の自動車主体の市庁
舎前から、人が集まる人主
体の広場作り



第2部 パネルディスカッション

進行役 コーディネーター 鳥崎 一郎さん 元ジャーナリスト

- 発言者 パネリスト
- 申 連植 シンヨンシクさん 交通研究院研究院委員
- 鄭 鉉靜 チョンヒョンジョンさん ソウル特別市庁交通局
- 裴 隆昊 ペユンホさん 便宜施設促進市民連帯所長
- 崔 榮繁 さい たかのり DPI (障害者インターナショナル) 日本会議
- 東 俊裕 弁護士
- 丸山 力 まるやま ちから 地域デザイナー



BFDI事務局

- バリアフリーデザイン研究会
862-0928 熊本市新南部2丁目1-110
- TEL 096(382)7881 FAX 096(382)7896
- email : office@barrier-free.jp
- URL : <http://www.barrier-free.jp/>